

西日本豪雨の被災者に義援金

高会
野徒
玉生

西日本豪雨の被災者 ほど倉敷市真備町地区を支援しようと玉野高をはじめとする県内の生徒会は12日、校内で深刻な被害状況を知った生徒会役員が企画。集めた募金と過去の学校祭収益の計9万2200円を義援金として山陽新聞社会事業団に寄託した。協力を呼び掛けた。多くの生徒や教職員が浄財を寄せて5万3133



義援金を手渡す大石さん

8円が集まり、2016、17年の学校祭の模擬店売上金で、生徒会活動費としてためていた3万7082円も加えた。自分たちに今、何ができるかを考え、行動した。生徒みんなの気持ちです」と話した。

大石さんは「同じ県内に苦しんでいた人がたくさんいる。自分たちに今、何ができるかを考え、行動した。生徒みんなの気持ちです」と話した。

(角南邦彦)

大石さんが山陽新聞社玉野支社を訪れ、黒住正義支社長に

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。